



内 容

学期・月	教材名	学習活動
1 学 期	4 オリエンテーション	・美術の授業の目標、内容、評価、授業の約束などを知る。 ○見通しをもち積極的に取り組むことを目指します
	5 デザイン・色彩の学習 色相環・明度表作成	・色彩・アクリルガッシュの使い方・技法を学ぶ。 ・色相の基本的な要素、明度変化、彩度変化の意味を理解し、グラデーションができる。
	6 デザイン・サンドブラスト加工によるマイミラー制作	・サンドブラストの技法を理解して、自分の部屋にふさわしいデザインを構想し、制作する。 ・動植物の形や動きをよく観察し、特徴をとらえて表現する基礎的能力を養う。
2 学 期	9 10 工芸・台座制作	・鏡のデザインに合わせて、台座のデザイン制作をする。 ・日用品に関心を持ち、根気強く制作する喜びを味わう。
	11 デザイン・レタリング デザイン・絵文字	・レタリングの基本、バランス・太さ・止め・はねはらい、などを考えて制作する。 ・意味をより伝えられるような文字のデザインをする。
	12	
3 学 期	1 2 3 絵画・からくり絵本	・4ページの展開をもつ、自分だけの絵本の世界を構想し、制作する。 ・アクリルガッシュでイメージ通りに着色制作する。

評 価

<評価の観点>

- ① 関心・意欲・態度
  - ・授業に楽しく、意欲を持って熱心に取り組む（授業態度など）
  - ・授業の準備や提出物、期日までに作品を提出する。自分の制作に必要な物を自分で考えて準備する。（提出物）
- ② 発想・構想の能力
  - ・自分の気持ちや思いを作品に表現する（作品・作業記録表・アイデアやレイアウトのプリント）
  - ・自分独自の構成を考え、よりよい作品にするために工夫する。
- ③ 創造的な技能
  - ・自分の思い通りに表現することができるようにする
  - ・より高いレベルを目指して作品に取り組み、丁寧に仕上げる。（作品途中の評価、作品の完成度、工夫・努力）
- ④ 鑑賞の能力
  - ・鑑賞の授業に積極的に取り組む。（作業記録表、鑑賞プリント）
  - ・日本や世界の美術作品や作家を調べてレポートにまとめる。
  - ・自分の作品や活動を自己評価し、次回への課題を見つけようとする。

<評価の方法>

- ・毎時間の授業への取組、作品の完成度・工夫・努力、鑑賞プリント、作業記録表、アイデアプリントなどの学習活動を基にして総合的に評価する。
- 4つの観点のポイントを意識して、経験と努力を重ねていくことが、力を伸ばすことにつながります。

作品の評価

- 5 よく工夫され、丁寧に仕上げられた完成度が高い作品
- 4 よく工夫され、丁寧に仕上げられた作品
- 3 自分なりに工夫され、仕上げられた作品
- 2 作品制作に取り組むが、努力を要する
- 1 作品制作に十分取り組むことができず未完成、未提出。

学 期 提 出 物

- 1 ・デッサン（スケッチ）作品、色相環、サンドブラスト加工の鏡作品、作業記録表、プリント
- 2 ・美術館レポート・風景画（夏の課題）、デザイン絵文字作品、作業記録表、プリント
- 3 ・からくり絵本作品、作業記録表、レタリングプリント

授業中

- ① 授業の準備をしつかりする。  
（道具や材料の忘れ物をしない。チャイム着席するなど授業の約束を守る）
- ② 目的と意欲をもって授業に臨む。  
学ぶべきところを学ぶ、高めるところは磨く。積極的に取り組む。
- ③ 創意工夫して作品の完成をめざす。



復習

取り組んだ作品が決められた期限内に完成できるように、「何を」「どうしたらよいのか」、自己評価する。  
（遅れている場合には、できる作業を行う。）

\*自分以外の作品や教科書の作品をよく見て、よさを感じる心や自分もやってみたいという気持ちを持ちましょう。



※安全で、気持ちのよい授業ができるように、授業の約束は守りましょう。